

日本民間生薬検定試験問題【初級】 (令和4年12月4日実施)

受験番号 _____ 氏名 _____

20点

I】チガヤとカラスビシャクについて、()内に用語欄より適語を選びその番号で記入しなさい。

	用途	科名	生薬名	薬用部分	その他の特徴
チガヤ	(③)	(⑤)	(⑩)	(⑬)	(⑭)
カラスビシャク	(②)	(⑦)	(⑪)	(⑮)	(⑬)

用語欄

①健忘症 ②吐き気止め ③膀胱炎 ④鎮咳去痰、滋養 ⑤イネ科 ⑥ムギ科 ⑦サトイモ科 ⑧ユリ科 ⑨蘆根 ⑩茅根 ⑪半夏 ⑫麦門冬 ⑬むかご ⑭風媒花 ⑮塊茎 ⑯根茎 ⑰塊根
--

チガヤはイネ科の植物で風媒花、薬用部は根茎で生薬名は茅根。利尿剤として膀胱炎等に使用する。カラスビシャクはサトイモ科で独特の仏炎苞をもち。葉柄にむかごを持つ、薬用部は塊茎で生薬名は半夏。鎮咳去痰、吐き気止めとして使用する。

8点

II】次の文章について、正しいものには○、間違っているものには×を()内に記入しなさい。

- (○) アサガオの薬用部分は種子であり、薬用成分はファルビチン。強い瀉下作用があるので虚弱者、老人、妊婦には禁忌である。
- (×) ドクダミの生薬名は芍薬といい、鎮痛・鎮静作用を示し筋肉の緊張を和らげたり血管の働きを良くするといった効果がある。
- (○) オオバコは、日本各地の日当たりの良い路傍、草地、山林に分布する多年生植物である。
- (○) イタドリの薬用部分は根茎(虎杖根)である。冬に根茎を掘り起こし、乾燥させて、便秘や生理不順、浮腫に用いる。

アサガオ：

記載のとおり。アサガオの薬用部分は種子(牽牛子)であり、薬用成分は樹脂配糖体のファルビチンである。瀉下作用、利尿作用を示す。便秘に用いる際には種子を日光に当てよく乾燥し、粉末にし1回に0.3~1gを水で服用する。但し激しい瀉下作用のため、虚弱者、老人、妊婦には禁忌である。種子を煎じて服用しても効かない(有効成分が水にとけないため、粉末にする)。蜂刺されなどに、生の葉をよく揉んでつけることもある。

ドクダミ：

問題の文章はシャクヤクについての説明である。ドクダミの正しい生薬名はジュウヤク(十薬)で、薬用部分は地上部全草である。薬効成分はイソクエルシトリン(花穂)、クエルシトリン(葉)、カリウム、マグネシウムを含み、デカノイルアセトアルデヒドやラウリールアルデヒドが臭気成分となっている。用途は、利尿、強心、高血圧、便秘、蓄膿症、腫れもの、ニキビ、ただれ、痔、

冷え性、帯下、風邪などに、また胎毒の「毒下し」として応用されている。

オオバコ：

記載のとおり。路傍に生息し踏まれた場合に葉はちぎれても葉脈が残る。この葉脈には導管があり生き続ける事が出来る。薬用部分は種子（車前子...大粒車前子と小粒車前子）、全草（車前草）である。薬用成分は、多糖類粘液のプラントサン、イリドイド配糖体のアウクビン、フラボノイドのプラントギニンなどである。用途は去痰、鎮咳、利尿などである。

イタドリ：

記載のとおり。薬用部分は根茎（虎杖根）で、薬用成分はアントラキノン誘導体（エモジン、ポリゴニン）及びシュウ酸、タンニン、数種多糖類などである。用途は、抗菌作用、抗ウィルス作用、浮腫、月経不順、便秘、消化不良、胃弱、咳などである。

Ⅲ】 アブラナ科に関する説明です。（ ）内に用語欄より番号を選び正しい文にしてください。10点

1. ダイコンは春の七草の1つ。春に白～淡紅色の4弁の十字架状の花をつける。葉が鋸歯状で、薬用部分の種子は（ ④ ）とよぶ。
2. ダイコンの根には消化酵素ジアスターゼを含み、（ ⑤ ）の消化を助ける。
3. （ ② ）の種子を粉末にして腹痛や咳に、根をおろし風邪等に用い、打ち身、火傷、しもやけ等に貼る。
4. ダイコンの（ ⑧ ）を乾燥し風呂に入れると体が温まり神経痛等に有効だ。
5. カブの葉は（ ① ）でダイコンと区別できる。

用語欄

①切れ込みがない丸い形 ②ダイコン ③タンパク質 ④菜服子 ⑤でんぷん ⑥蕪菁子 ⑦根 ⑧葉 ⑨全草 ⑩鋸歯状
--

1. 菜服子（ダイコンの種子の生薬名）
2. ジアスターゼ（消化酵素）はでんぷんを消化する酵素
3. 菜服子を指します。ダイコンの種子です
4. 風呂にダイコンの乾燥した葉を用い温めることにより効果を出します
5. ダイコンは鋸歯（のこぎりの歯のような葉）状ですがカブは全体が丸い

Ⅳ】 ノアザミについての説明です。（ ）内に入る正しい言葉を用語欄から選び、その番号を記入してください。11点

（ ③ ）科の（ ④ ）草。茎は直立し、高さ（ ⑧ ）。葉は（ ⑩ ）、縁の鋸歯（きよし）は先が鋭い刺（とげ）になる。花期は5～8月。頭花は（ ⑬ ）で径約3cm、（ ⑭ ）からなり（ ⑰ ）。総苞片は（ ⑳ ）先端は刺になり、背部に粘着質を分泌し、粘り付く。山野に、ごく普通に生え、本州から九州に分布する。薬用部分は（ ㉒ ）で（ ㉓ ）頃に採取し、洗浄後（ ㉔ ）乾燥する。

用語欄

- ①バラ ②シソ ③キク ④多年 ⑤一年 ⑥二年 ⑦15～30cm ⑧50～100cm
 ⑨線状倒披心形 ⑩羽状裂 ⑪掌状裂 ⑫黄色 ⑬紅紫色 ⑭管状花のみ
 ⑮舌状花のみ ⑯合弁花 ⑰下を向く ⑱横を向く ⑲上を向く ⑳反り返り
 ㉑直立し ㉒花部 ㉓果実 ㉔根 ㉕発芽期 ㉖開花期 ㉗結実期 ㉘機械 ㉙天日

V】 次の生薬名に合ったものを線で結びなさい。 8点

生薬名	薬用部分	用途
ウレンボ	根	オリーブ油の代用
ゴシツ	全草	腫物、虫刺され
ハンロウ	硬皮を除いた種子	腰痛、関節痛
山茶	全草	利尿、浄血

VI】 ツユクサについての説明です。() 内に適語を用語欄から選び番号を記入しなさい。 11点

梅雨が明けてしばらくすると、綺麗な青紫色の花を咲かせたツユクサ（露草）の群生がみられます。

ツユクサは一年草で、薬用部分の採集は（ ② ）までに採集し、よく洗ってから（ ④ ）し、密閉容器に保存します。葉は2列で互生し、大きく重なった2枚の青紫色の花弁が目立ちますが、実はよく見ると小さな白色の花弁がもう1枚下部にあるのに気づきます。その形や色から（ ⑦ ）、「青花（あおばな）」ともよばれ、青紫色の花弁の汁が衣に着きやすいことから古くは「着草（つきくさ）」とも呼ばれていました。

園芸種の（ ⑤ ）の花弁からとった青汁で紙を染めたものが（ ⑧ ）という製品になります。これを水に浸して染み出た色素を友禅染などの下絵を描くのに用いられています。

開花期に全草を乾燥させたものが生薬（ ⑥ ）で、その（ ⑩ ）を（ ⑫ ）、（ ⑭ ）、（ ⑯ ）、（ ⑱ ）、尿の出がよくなり浮腫を去り、喘息などに用います。

用語欄

- ①盛夏 ②夏の終わりごろ ③熱 ④乾燥 ⑤オオボウシバナ ⑥オウセキソウ
 ⑦帽子花 ⑧青花紙 ⑨赤花紙 ⑩煎液 ⑪絞り汁 ⑫解熱 ⑬傷 ⑭下痢止め
 ⑮便秘 ⑯脳血栓予防 ⑰痛み ⑱心臓病 ⑲頭痛

VII】 下記はタンポポ、フキ、ヨモギの説明です。あてはまる植物名を（ ）内に記入しなさい。

- （ヨモギ）葉の生薬名を艾葉といい、漢方処方芍薬甘草湯に配合されている。 10点
 （タンポポ）若葉はサラダやお浸しに食用として使える。根はコーヒーの代用として利用できる。
 （ヨモギ）初秋に管状花のみの小型の頭花を多数つけ、風媒花のため花粉が多く飛散し秋の花
 粉症の原因となる。
 （フキ）雌雄異株で雄花は白色、雌花は黄色をおびる。早春には花蕾をてんぷらにして食べる。

(**フキ**) 学名はつば広の帽子に由来し、大きな葉を帽子に例えている。

VIII】 次の植物名と適合する生薬名と用途とを線で結びなさい。 **12点**

植物名	生薬名	用途
アンズ	トウニン	鎮咳、去痰、解熱、止瀉、駆虫、収斂
ウメ	キョウニン	産前産後、血の道症、更年期障害
モモ	ウバイ	喘息、呼吸困難、浮腫、緩下

アンズは生薬名をキョウニンといい、用途として 喘息、呼吸困難、浮腫、緩下剤に用います。
ウメは生薬名をウバイといい、用途として鎮咳、去痰、解熱、止瀉、駆虫、収斂薬に用います。
モモは生薬名をトウニンといい、用途として産前産後、血の道症、更年期障害に用います。

設問1のみ 1.5点×2、他 1点×7 計 10

IX】 下記の設問1～4のうち、設問1～3については文中の () 内に入れるべき写真で示した植物名、または適語を用語欄から1つ選び記入しなさい。設問4には数値で答えなさい。 **10点**

1. 果実は子房壁が成熟して (**果皮**) となったもので、ふつう内部には (**胚珠**) が成熟した種子がある。
2. 果実の形成に、花托などの子房壁以外が果実の大部分を占めるものを (**偽果**) といい、写真で示した (**リンゴ**)、(**イチゴ**) などはその例である。
3. 大部分が成熟した子房壁からできている果実を (**真果**) といい、写真で示した (**アンズ**)、(**ミカン**) などはその例である。 **エンドウも正解**
4. 写真で示したエンドウの果実断面を見て、心皮数を () 内に答えなさい。

エンドウ : (**1**)

用語欄

